

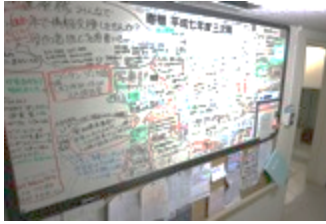
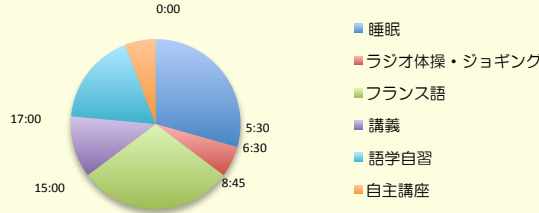
みなさん、こんにちは！青年海外協力隊として、7月から西アフリカにある「ブルキナファソ」という国へ派遣されることになりました。今後、協力隊の活動や現地の生活を紹介していきますので、リクエストなどあったらお知らせくださいね。（目標は月1回発行！）

Quoi de neuf? ▶▶▶ 派遣前訓練がスタート！

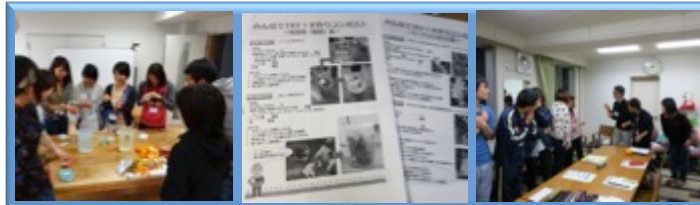
協力隊の訓練所は国内2箇所（福島・長野）にあります。主に派遣される地域で分かれており、西アフリカに派遣される私は、長野県駒ヶ根にて訓練がスタートしました。訓練所の生活はこんな様子です！

訓練所の1日は早朝ラジオ体操で始まり、語学で終了！ハードスケジュールですが、そんな中でも「バイクの直し方」「農業勉強会」...それぞれの専門をいかした自主講座が次々にうまれていきます。訓練期間すべてが挑戦・実現の場！

訓練生活の1日



自主講座やイベントの案内掲示板は入所3日ですべていっぱい...



自主講座コンポストづくりに参加 講座内容をわかりやすくまとめる訓練中！様々なアイスブレイクをみんなで試してみる。



私たちのクラスは6名(全員女性)+ベルギー人のやさしい先生、JO。みんなで切磋琢磨の日々です。



駒ヶ根では6カ国語の訓練が行われています。ブルキナファソの公用語=フランス(仏)語クラスは全部で8クラス。少人数制で実践的な仏語を学べます。

Où allez-vous? ▶▶▶ 派遣国紹介

さて、みなさんはブルキナファソという国を聞いたことがありましたか？ブルキナファソ、ブルキナファソ、ブルキナファソ、...何度も言って、ぜひ覚えてくださいね。

Burkina="高潔"(モレ語)

Faso="先祖の土地"(ジュラ語)で、"高潔な人々の国"という意味です。

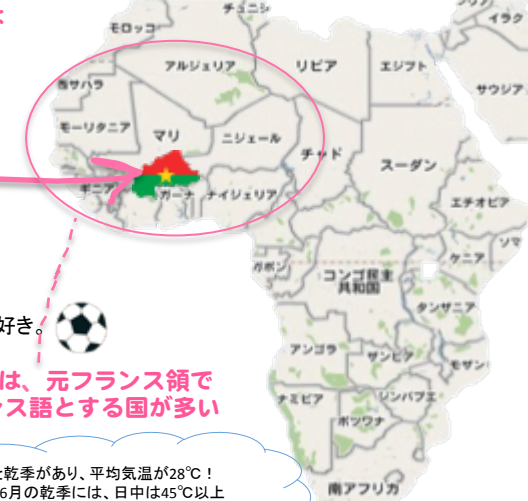
モシ族、プル族等、約65もの民族が住っていますが、各地域に様々な民族が混じっているため、どの村でもフランス語は(他の国に比べて)比較的通じるようです。また、よく耳にするのが「ブルキナベ(ブルキナファソ人)は日本人に似ている」ということ。

穏やかでまじめ、挨拶を大切にすることで、それだけで親近感がわきますよね。西アフリカの中では治安も安定していて、アフリカ映画祭や国際工芸見本市など、アフリカ全土や世界の大規模なイベントもブルキナファソで行われています。ちなみに、今年2月のサッカーアフリカ選手権で(初...)準優勝するくらい、サッカー好き。あのトルシエ元監督も、ブルキナファソのチーム監督をつとめていたそうです。

★基本情報

- 人口：1,530万人 (日本の約1/8)
- 面積：274,200km²(日本の約3/4)
- 首都：ワガドゥグ
- 言語：フランス語、モレ語、ジュラ語等
- お金：Franc CFA(フラン セーファー)
※西アフリカで使われている紙幣
- 宗教：伝統的宗教 57%、イスラム教 31%、キリスト教 12%

ブルキナファソはここ！！



西アフリカには、元フランス領で共通語をフランス語とする国が多い

雨季と乾季があり、平均気温が28℃！3月～6月の乾季には、日中は45℃以上まで上がります。12月頃になると空気はとても乾燥し、朝晩が特に寒くなります。

クイズ de français

実は身近にあふれているフランス語。以下の言葉はフランス語が語源となっています。さて、日本語にすると、 にどんな言葉が入るでしょう？

- ① シュークリーム choux à la crème
→ の中にクリーム
- ② コッペパン coupé pian
→ ているパン
- ③ オーエス、オーエス！ Oh hisse!
→ それ ! それ !

実は「さぼる」もフランス語のsaboter(手抜きをする)から来てよ！



Ensuite? ▶▶▶ 5月は廃油せっけんやろ過器づくりにチャレンジ予定。環境教育や資源を活用した商品づくりに特化して紹介していきたいと思ひます。